



いつそう輝くチームでありたい(後編)

第十七回全国車いす駅伝競走大会京都チーム

吉松時義・西原宏明・白須優也・真下和也
用田竹司・三島忠夫・寒川進・中田達也
依田琢磨・藤重純也・澤村聡一・池田康広
藤重純也

Aチームのように、必須課題として3位入賞という課題がありますが、私の場合は選手枠により、まず走れるか走れないかが懸かっています。今年の選手人数は十一人。1人が補欠に回るようになるため、そこに入らないようにいつもよりもトレーニングの量を増やしてきました。走れないかも、という危機感があつたので、ライバルが週1回しかできないなら自分はその3倍すると決めて実行してきました。もちろん、順位も昨年より上げることがも視野に入れています。大分国際車いすマラソンと全国車いす駅伝京都大会だけ、は車いすマラソンをして、るもののハシクレとして、

それを走れること、結果を出すことがどんなに価値があるので、とにかくスターティングメンバーから外れないように、結果を出すようにと心がけてきました。余談ですが私の親父が脑梗塞で倒れた後、少し元氣になつた親父を見舞いに行つたとき同室の患者さん、看護士さんに言語障害が残りがらも片言で「駅伝の選手なんです」とうれしそうに紹介する姿がありました。今後も車いす駅伝の選手として胸を張って参加できるように、危機感を持ち、気持ちを維持していくつもりです。(もちろん、選手枠に係なしです)とはいっても練習量としてはまだまだの感じはあります。今までど

れだけ練習量が少なかったかと言うことでしよう。今回はチームで決めた個人目標タイムよりまだ30秒短いタイムをクリアするよう、自分に課題をかけた。仕上げは上々だったため自信はありました。結果、自己目標はクリアできましたが、チーム全体の目標タイムは未達成。他選手との駆け引き、体調を考えてのペース配分、本格的な雨対策等、自分でもレースを振り返るとまだまだ改善するところが出てきます。最後

標と、またBチームは昨年の記録を上回るということで大会に臨みました。車いすマラソンを始めたのが全国車いす駅伝でした。それから5年地元京都での開催ということもあり、他の大会とは違う重圧の中でも楽しいレースでした。僕自身は今回の駅伝で車いすマラソンを卒業しますが、沢山の人も出会い有意義な大会でした。

澤村聡一

今大会は昨年より体調を崩し選手としては参加できずサポートという形で参加させてもらいました。車いすマラソンを始めたときからお世話になった、吉松さんが京都を離れるというところで京都チームでの最後を3位表彰台に上げる事を目標

池田康広

今回は、吉松さんが京都チームではラストランとなる大会では是非3位以内に入りたい気持ちで走りました。順位も上位を取りたいと思つていました。中継点でのタイムロスが発生させてしまい非常に残念です。そしてロスした分を縮めることが出来ず、今回の結果となつてしまいました。色々な要因があつたかと思いますが、自分自身がどれだけ上位入賞に執着したのかを自問自答しています。次回、ぜひとも大分とのタイム差を短くし上位入賞を目指したいです。

次回のつどいは

5

14

第2日曜日

- 4月 9日(日) 第400回記念障害者スポーツのつどい (府立体育館)
- 「つどい400」
- 11日(火) 丹波スポーツのつどい (丹波自然運動公園)
- 16日(日) 水泳のつどい (伏見港公園プール)
- 22日(土) 障害者フライングディスク講習会 (京都市障害者スポーツセンター)
- 障害者アーチェリー教室 (福知山市三和荘)
- 23日(日) 第248回城陽スポーツのつどい (サ・アビリティーズ城陽)
- 5月 9日(火) 丹波スポーツのつどい (丹波自然運動公園)
- 14日(日) 第15回障害者シクロノイズ・スイミングフェスティバル (京都市障害者スポーツセンター)
- 障害者スポーツのつどい (府立体育館)
- スポーツレクリエーションフェスティバル (丹波自然運動公園)

詳しくは、京都障害者スポーツ振興会事務局まで (火曜日及び第3金曜日は定休日)
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX 075-712-7010
<http://web.kyoto-net.or.jp/people/spo-shin/> (3月30日に一部更新)

4・5月行事予定

第15回障害者シンクロナイズドスイミングフェスティバル

日: 5月14日(日) 場所: 京都市障害者スポーツセンター

出場チームは14都府県から21団体です。新チームとして京都府から「ウオーターキッズ」が初出場します。演技者数約330名です。そして、カナダからソロの選手が1名参加します。また、カナダのシンクロ組織から、障害者担当委員長と組織全体の普及委員長という立場の方が来日され、日本と交流を持つことになっています。5月13日には、17:00から、そのシンポジウムがあるので、是非多方面の方々の参加をお待ちしています。14日は、10:00から演技発表です。カナダのソロも発表です。詳しくは京都市障害者スポーツセンターTel:075-702-3370

**第13回京都シティーハーフマラソン
車いす競技の部**

順位	所属	記録
1位	寒川 進	11分17秒
2位	白須優也	12分20秒
3位	用田竹司	12分23秒
4位	依田琢磨	13分03秒
5位	池田康広	13分05秒
6位	中田達也	14分10秒
7位	真下和也	15分21秒

3月12日(日)行われた。

卓球パレー審判員養成講座受講生募集!!

来る6月18日(日)に、京都府立体育館で第26回全京都障害者総合スポーツ大会卓球パレー大会が実施されます。競技運営面をより充実させるため審判員講習会を開催いたします。興味のある方、是非あなたの力を貸してください。

日時 5/11・25・6/1・8・15(木)PM6:30~8:30

場所 京都市障害者スポーツセンター 定員 30名

申込締切5月11日午前中

申込み、問い合わせ 京都障害者スポーツ振興会

平成十七年度京都ゆうあいフライングディスク大会
三月十五日水曜夜京都市障害者スポーツセンター
で第十一回大会が開かれまし
た。五十一人の参加でした。
「アキユラシー競技」
一位 田畑宏樹・坂崎幹夫
福住雅史・野村尚平
北川孔一・照井かず子
秋村恵三・白井知子
「デイスタンス競技」
一位 武居義則・田中孝三
福住雅史・野村尚平
広畑耕一・桑波田綾乃
坂本妙子・山田千春

きょうと・つどい 400 スポーツコンテスト受賞作品及び理由一覧

部門・賞	氏名	作品名	受賞理由
スポーツを創り育てる部門 優秀賞	佐々木健治 (京都市)	丸9(まるく)おさめて	高さの違う9つのゴールと色鮮やかなボールの魅力、1つの道具を立てて使うゲームとねかせて使うゲームがあり、1つの道具で数種類のゲームを考案されていました。
スポーツを創り育てる部門 優秀賞	齊藤峻・ 三浦康之 (北海道)	スティックバスケ	ボールを持つことの難しい人が「バスケットボールのシュートの感覚を味わいたい。」という願いからはじまったスポーツ。ゴールやルールを工夫し、ひとりひとり個人にあわせて手作りの道具(スティック、プロテクターなど)を考案されていました。
私の感動をみなさんに(I)部門 最優秀賞	松村聡貴 (京都市)	なり田まゆみさんと およいだ	「なり田さんと、クロールのきょうそうをしたとき、ぼくはよこを見ました。なりたさんの足が見えました。」(本文から)障害者スポーツのトップアスリートのなりたさんのプールの中でのようすを自分も横を泳いでよく観察されていました。また、自分の気持ちもうまく表現されていました。
私の感動をみなさんに(I)部門 ナイススポーツ賞	松田寛之 (福知山市)	しょうがいしゃのスポ ーツをみて	「...すごく、ぼく、じしんも、すこし、ゆうき、ずけられました。」(本文から)障害者のスポーツを初めて見て勇気づけられ参加したいなあ。と思った気持ちもうまく表現されていました。
私の感動をみなさんに(II)部門 最優秀賞	吉川瑛葉 (大阪府)	サッカーの練習 (絵日記)	サッカー大会に向けて少しずつ気持ちが高まっていくようすがシュートのボールの変化していくようすの絵と日記の文字でうまく表現されていました。
私の感動をみなさんに(II)部門 ナイススポーツ賞	津田真衣 (京都市)	みんながんばれ 風船パレー(絵画)	表情が豊かでひとり一人違って表現されていました。絵に登場する数人の中に、車いすの人、レシーブをしている人などいろいろな人が表現されていました。また、風船パレーの楽しさが伝わってきました。

最優秀に該当する作品は残念ながらなかったが、優秀に値する2作品に決定。